

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30 年 1 月 10 日
第 20 号

今年もよろしくお願ひします

新しい年が始まりました。皆様はどのようなお正月を過ごされたでしょうか。

昨日は3学期の始業式でした。ケガや体調不良などで欠席する児童はおらず、一安心です。また、元気な子どもたちの姿を見せてくれるであろうと楽しみにしています。

3学期は学年最終の学期、つまりこの1年間の仕上げの学期です。終業式するとき、児童の皆さんに「4月以降、ずいぶんお兄さん・お姉さんになったと思いますよ」と言いました。あと3ヶ月すれば学年が1つ上がります。やり残しが無いよう、しっかりと締めくくってください。「終わりよければすべてよし！」

「ありがとう」は魔法のことば

12月28日付のヨシクマ新聞にこのような記事がありました。

去る11月、取材に訪れた入鹿小学校で、待ち時間があつた。特に何をするでもなくボーっとしていたところ、児童会役員か最上級生と思しき児童がトコトコと駆け寄り「いつも取材してくれてありがとうございます」と言ってくれた。何かすごく嬉しい気分になり感動すら覚えた。と言うものの、そのわずか数日前、ふと自分の仕事について友人と話をしていたところ「なかなか仕事をしていて『ありがとう』って言ってもらえることはない。取材した記事が新聞に載って、それを『ありがとう』って言ってもらえるのはやりがいがあるよね」という言葉を聞いていたから。時には事故、火災、風水害など悲痛なニュースを扱うことがあり、場合によっては煙たがられることもあるが、基本的には喜ばしいニュースを大きく報じ、困っていることを取り上げて住民の声を知らせる本誌のスタンス。だからこそ「ありがとう」と言ってもらえることが多く、それが読者に喜んで頂けるヨシクマに繋がるのだと感じる。【以下省略】

この記事は文章からすると焼いも大会のときのものではないかと思われそうですが、子どもと新聞記者の方の間でこのようなやりとりがあつたのですね。

今の世の中、何かにつけ、してもらって当たり前と考えてしまいがちですが、人はみんなの支えがあつて生きています。たとえそれが仕事であつたとしても、それなしには社会は成り立っていきません。1学期の始業式で子どもたちに「感謝の気持ちを忘れないでください」といいましたが、それを実践してくれて、とてもうれしく思います。日頃の感謝の気持ちを直に自分の口で伝えることはとても大切なことなのだと再認識しました。この学校だよりを読んでもくださる皆様に、ここにあらためて感謝いたします。ありがとうございます。「ありがとう」って、いい言葉ですね。

2泊3日の修学旅行

マナウス日本人学校にも修学旅行はあります。人数の関係で3年に一度（入鹿小学校は2年に一度ですが、理由は同じですね）ブラジルの首都ブラジリア方面への2泊3日で行かれます。参加するのは小学部5・6年生と中学部全員です。マナウスの場合、滞在期間は3～4年ですから。日本の学校で修学旅行へ行く小学6年生と中学3年生あたりの学年に在籍している間に一度は修学旅行へ行けることになります。

私が赴任した年はちょうど修学旅行が実施される年で、私は中学1・2年生の担任をしたので、赴任早々の6月に校長先生、小学5・6年生の担任、中学3年の担任、現地採用の通訳も兼ねた先生の計5人で修学旅行を引率することになりました。

マナウスからブラジリアまでは飛行機で約3時間。直行便は早朝と午後の2便。行程を考えると午後便では身動きが取れないため早朝便で行くことになります。早朝とは言え、出発は午前3時過ぎ。まだ真夜中です。夜行便と言った方がいいかもしれません。出発がその時刻ですから集合は午前1時です。本当に日付通り、1日めが始まって間もなくの頃から旅行が始まります。ちなみにマナウスとブラジリアには1時間の時差があります。

マナウスから遠くへ出かける時は基本的に飛行機での移動ですので、幸い子どもたちも飛行機には慣れています。早朝にブラジリアに到着し、旅行会社の添乗員さんとも合流し、ブラジリア市内の見学です。実はこの日、サッカーワールドカップ日本韓国合同大会の予選リーグでブラジル代表の試合がありました。日本時間の夜に試合があったので、ブラジル時間では朝からです。以前にも書いたようにワールドカップでブラジル代表の試合があるときは、街の機能が止まってしまう。幸い貸し切りバスはちゃんと動き、市内見学も代表的なところは閉館になってなかったのが、大きな影響はありませんでした。もっとも、3日目にもブラジリア市内の見学が予定されていたので、影響がないところを1日めの行程に組み入れてあったのでしょうね。

その後の行程は150kmほど離れたクリスタリーナという町で水晶掘り体験、パラカツという町でコーヒー農場などを見学し、2日めの夕方にはブラジリアへ戻ってきました。

最終日はブラジリアの日本大使館を訪問し、内部を見学させていただきました。マナウスには日本総領事館はあるので

すが、ブラジリアはブラジルの首都ですから、大使館がおかれています。赴任するまでは大使館と領事館のちがいを意識したことはありませんでしたが、赴任して初めてそのちがいを知りました。

その後、初日には見学できなかったところを市内観光し、いよいよ帰路につきます。ブラジリア発は午後8時の飛行機で、マナウス着は時差がありますから午後10時頃です。ところが飛行機が1時間ほど遅発になり、結局マナウスに戻ったのは午後11時過ぎでした。時間にすると約70時間、文字通り2泊3日の修学旅行でした。

